

反戦、反安保、沖縄奪還、70年安保推進内容佐藤打倒！

クラスに10.21実行委を作るか！

全学自治会10.21スト実行委員会は、9月18日代議員会を設置、代議員会決定に基づいて10.21教養スト・シニア授業放棄を成功させるための唯一の自治会正式機関です。

10.21スト・フライキ闘争に必要不可欠なのは、

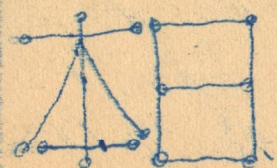
9月18日のあの輝きで、代議員会は、10.21中野区ストを、この中大に定めて教養スト・シニア授業放棄として戦う為、10.21スト・フライキ実行委員会を設置することを決定した。この10.21スト実行は、全学のクラスにあやまるところの討議を踏まえてクラス実行委の設置を要約するものとしての唯一の自治会正式機関である。我々は長年、三自治会運動を白紙同様に、この10.21市大教養スト・シニア授業放棄の斗争で取り戻さねばならない。全学生諸君は、クラスにスト実行委を設置して、10.21教養スト・シニア授業放棄のよう。まあ、本日の定期学生大会后、オ一回スト実行委仲間になります。クラス実行委の設置をぜひ見ぬクラスねらへ、代表を派遣されることを申請します。

10.21斗争のもつ意義

9月18日代議員会で確認された10.21斗争のもつ意義とは、ストナラ運動勝利アメリカに戦い争との連綿の旗の下に、個別抗争斗争と有机的に結びつは「官軍の主体」との全面対決の拡大の斗争であるというところ。

70年を克服する為の様に、大衆の目を醒まし、つ断に侵略中保地を拡大して、こうとする思図を明確に打ち破き、抑微斗争の取勝的勝利によって、自民党独裁を打ち破き、来年一月の安保強硬の者の敗北をもくろんでいる佐藤の70年コースを粉砕しなければならぬ。我々はこの戦いの斗争、とりわけこの10.21斗争をストを単なる反戦斗争としてではなく、反戦反安保斗争を推進内容佐藤打倒の戦いとして進めなければならぬ。10.21斗争は65斗争の再現ではない。10.21斗争は、まさに安保斗争の真っ只中に位置しているのだ。

学生諸君に於ては、学生に於るスト・フライキを闘争のあり人も、学生は、我々は学生に於て反戦反安保の意を必ずしも要する、それは統一された意をの方針的、我々には、学園を管理運営する権利があるの、スト・フライキでもって必ず必要であるのだ。学生諸君、本日学生大会に結集し、10.21教養スト、専門授業放棄を戦いぬくための意を統一をねらう。



次回

自治会実行委 (学生大会終了后)
10.21 (於講堂)